

# やまがた木育プログラム体験会

会場…高島町屋内遊戯場もつくる

## スギのストラップづくり



樹と木の話  
1回目



木の重さ  
チェック



オリジナルの  
ストラップ完成



樹と木の話  
2回目



やすりがけ  
「丸くなってきた」



またやりたい！

11月9日(土)高島町  
屋内遊戯場もつくるにて、  
やまがた木育プログラム  
体験会「ストラップづく  
りを通して森の恵みを知  
ろう」を行いました。  
やまがた木育人材養成  
講座スキルアップ修了者  
からは、仲山常吉さん、  
今野颯さん、そして今回  
初めて参加の小山田智裕  
さん、高橋司さん、鈴木  
拓也さんの5名から講師  
として指導をしていただ  
きました。  
初めにステージにて木  
育指導者より紙芝居を用  
いて「樹」と「木」につ  
いて説明を行った後、ほ  
つとルームへ移動し、ス  
ギの木のスラップ作成を  
2回に分けて行いました。  
当日は天気が良く、屋  
外で過ごす来場者も多い  
中、1回目は5組13名、  
2回目は呼び込みも行  
い5組14名、合わせて10組

27名に参加していた  
だきました。

樹と木の話では、実  
際にスギ材とブナ材に  
触れながら、クイズを  
交え、木材の特徴や働  
きなどについて説明を  
していたいただきました。  
スギの木のストラッ  
プ作成では、小さいお  
子さんでも親子で一  
緒にやすりがけ、アマ  
ニの塗布、紐通しの作  
業が出来ていました。  
初めてやすりを使  
ったお子さんは、角がど  
んどん丸くなっていく  
変化に夢中になって取  
り組んでおり、「見て  
見て！」と嬉しそうに  
出来栄を見せにきて  
くれました。  
レーザー刻印機での  
ストラップへの名前や  
イラストの印字も、大  
変好評でした。

### ひとこと

この木育体験を  
通じて、木の働き  
がある事で自分た  
ちの生活が守られ  
ている事を知る良  
いきっかけになる  
と思いました。  
そして、大人た  
ちが子どもたちへ  
国産の木を使う重  
要性や森林の機能  
を伝えていく事が  
大事な事だと改め  
て学びました。  
(担当S)

### 【参加した方の感想】

- ・少花粉のスギの存在を初めて知った。
- ・自分のオリジナルのストラップが出来て嬉しい。
- ・ストラップ作りでの子どもの集中力が意外だった。
- ・レーザーで名前を入れてもらえて嬉しかった。

### 【スタッフの振り返り】

- ・子育て支援センターという時間制限がある場で行う際は、1時間の木育体験は時間を取りすぎではないか。ストラップ作成をしながら、木の話をして良いのでは。
- ・紙芝居の途中、小さいお子さんが飽きてしまったので、イラストなどを加えたりして、幼児向けバージョンの紙芝居があると良い。



2回目  
ストラップ  
作成



「カバンにつけます！」

